

令和4年5月臨時会 文教厚生委員会（事前）

令和4年5月17日（火）

〔委員会の概要 教育委員会関係〕

岩佐委員長

休憩前に引き続き、委員会を開会いたします。（14時13分）

これより、教育委員会関係の調査を行います。

この際、教育委員会関係の5月臨時会提出予定議案について理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることといたします。

教育委員会

【提出議案】（説明資料）

- 議案第1号 令和4年度徳島県一般会計補正予算（第2号）

【報告事項】

なし

榊教育長

5月臨時会に提出を予定いたしております教育委員会関係の案件につきまして、御説明申し上げます。

今回、御審議いただきます案件は、令和4年度5月補正予算案1件でございます。

それでは、お手元に配付いたしております文教厚生委員会説明資料1ページを御覧ください。

一般会計の歳入歳出予算の総括表でございます。

今回の一般会計補正予算の総額は、表の最下段の計の欄に記載しておりますとおり1,600万円の増額をお願いいたしております。

この結果、令和4年度一般会計予算の総額は770億3,796万円となっております。

なお、補正額の財源内訳につきましては、計の欄の上段に括弧書きで記載のとおりでございます。

続きまして、3ページを御覧ください。

課別の主要事項につきまして御説明申し上げます。

体育健康安全課でございます。

保健体育総務費の①保健管理指導費におきまして、アの学校における新型コロナウイルス感染症対策強化事業では、学校における新型コロナウイルス感染防止対策の強化を図るため、部活動の大会等に参加する生徒、教職員の希望者に対し、抗原定性検査の実施に要する経費といたしまして1,600万円を計上いたしております。

以上が、今議会に提出を予定いたしております案件でございます。

なお、報告事項はございません。

御審議のほど、どうかよろしく願いいたします。

岩佐委員長

以上で、説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは、質疑をどうぞ。

井下委員

ただいま説明がありました学校における新型コロナウイルス感染症対策強化事業について、もう少し詳しく教えてください。

吉岡体育健康安全課長

ただいま井下委員から、学校における新型コロナウイルス感染症対策強化事業について、もう少し詳しくという御質問を頂きました。

現在、オミクロン株の中でもより感染力の高いB A. 2系統への置き換わりが全国的に進んでおりまして、県内でも感染拡大傾向が見られております。学校教育活動におきましても、4月以降、部活動や寮で複数のクラスターが発生しています。徳島県教育委員会では、昨年度から部活動で県外大会等に参加する生徒、また施設実習や職業体験に参加する生徒、県外に帰省した寮生が再び帰寮する際に、モニタリングPCR検査を実施し、感染拡大の防止に取り組んでまいりました。さらに、オミクロン株の感染力の強さや潜伏期間の短さに対応するため、今年3月からは抗原定性検査も実施しております。

今年の夏、行われます四国インターハイの予選として、今月末から本格的に県総体の開催に向けまして感染拡大を抑え込む必要があることから、この度の補正は抗原定性検査キットを活用して感染者を早期に発見し、感染の拡大を未然に食い止めるため、検査体制の強化を図るものでございます。

検査につきましては、教職員が使用方法を生徒たちに説明した上で、希望する生徒に持ち帰らせ、各家庭等で行うようにするなど、教職員への負担は極力生じないように配慮してまいります。

井下委員

今、昨年も実施してきたということで、PCR検査と両方やってきたと思うんですけど、検査実数、検査の結果、その辺を教えてください。

吉岡体育健康安全課長

ただいま井下委員から、昨年度実施したモニタリング検査の実績について御質問を頂きました。

昨年6月から今年3月まで行いました部活動のモニタリング検査につきましては、3,529件、検査をいたしております。

井下委員

ちなみにこのうちの陽性の判明ってどのぐらいいらっしゃるんですか。

吉岡体育健康安全課長

陽性件数は2件ございました。

井下委員

さっきそういう話も出ていましたけれど、子供たちは部活等いろいろな行事ごととも重なって、結構学校ではなかなか窮屈な生活が2年間続いているということもございますので、万全の対策ということで仕方ないといえますか、いいのかなと思っております。

現状、ゴールデンウィークが明けまして、県内のほうも増えてきている状況なんですが、学校における感染状況とか感染防止対策はどんな感じに進んでいるんでしょうか。

吉岡体育健康安全課長

ただいま連休明けの県内の感染者の状況、それから学校における感染状況や感染防止対策について御質問を頂きました。

4月以降、運動部活動が要因とされますクラスターが複数発生する中で、学校における感染拡大、特に部活動での感染拡大を最小限に抑えるために、要因を踏まえたチェックリストの作成と活用、それから運動部活動感染対策徹底期間の設定、また抗原検査キットの追加配付などの対策を行ってきております。また、間もなく始まります県総体に向けまして、新たな対策といたしまして県総体感染防止対策徹底シートを作成いたしまして、大会開始前、それから大会期間中の感染対策の徹底を呼び掛けております。さらに、クラスターの起こった学校とのオンラインミーティングや学校訪問チームの訪問によりまして、感染対策の実施状況の確認を行うとともに、クラスター等の発生した原因を共有いたしまして、一層の感染防止対策の徹底を図っておるところです。

井下委員

去年の年末だったと思うんですけど、高校サッカーの準決勝か何かで不戦勝になってしまって、ああいう子供たちが本当にかわいそうな状況が2年間いろいろ続いております。2類、5類の話在先ほどもしましたが、現状下だと仕方がない部分は多々あるのかもしれない。また、学校行事もいまだに修学旅行に行くとか行かんとか、現場で判断をさせられておりまして、一般的には外国人観光客が来たりとかしている中で、それでも学校での議論ではなかなか県内に行くとか行かんとかというような、まだそのところで議論しているような状況ですので、ある程度県教委としてもデータを基に一定の方向性を示していただいたほうがいいのかなと思います。子供たちの重症化率等々を見ましても、症状が出ない子供たちがたくさんいる中で、全部を防ぐのはなかなか難しいと思います。そんな中で、6月3日から、先行競技だと5月21日から県総体が始まります。また、7月には四国で24年ぶりとなるインターハイが3年ぶりの有観客によって開催されるということもございます。重ねてになりますが、子供たちはこれまでかなり負担を強いられた中で学校生活、部活動生活を送っていますので、2年ぶりに子供たちに発表できる場といえますか、感染対策万全で挑んで、成功させていただきたいなと思っております。なかなか全てをなくすのは難しいとは思いますが、頑張っていたらなと思いますので、よろしく願いいたします。

吉田委員

学校における抗原定性検査の実施ということで1,600万円の補正ということなんですけれども、この1,600万円の算定根拠がありましたらお願いします。

吉岡体育健康安全課長

ただいま吉田委員から、金額の根拠について御質問を頂きました。

まず、県外大会への出場でございますけれども、3,000名弱に関しまして、大会前と大会終了後に2回検査を実施できるように考えております。また、県内大会につきましては7,400名程度、これは大会開始前か大会終了後かどちらかを選んで検査ができるように考えておまして、それにつきまして1回1,200円程度の検査キットを使いたいと考えております。人数の根拠につきましては、昨年度の大会参加者数を基に算出いたしました。

吉田委員

分かりました。キットが1,200円ということで、保健福祉部のほうが1,500円だったのでちょっと安く購入できているかなと思うんですけれども、詳しくはまた聞いていきたいと思えます。

あと、検査に当たっての教職員の負担はないように御配慮いただいているみたいなんですけれども、そのキットは抗原定性検査なんですけど、家に持って帰ってするというところで、検査方式は唾液と咽頭拭い方式のどちらなんでしょうか。

吉岡体育健康安全課長

ただいま吉田委員から、キットの検査の方法について御質問を頂きました。

今回、使用しますキットにつきましては、鼻の粘膜からの粘液を採りまして、それで判定するというものを使用する予定でございます。

吉田委員

検査の方法は咽頭拭い方式ということで、慣れていないとちょっと難しいかなという懸念もあるので、その方法を学校で多分先生が教えたりすると思うんですけれども、しっかりお願いしたいと思えます。

この検査は飽くまでも無症状の方の検査ということで、発熱とか症状がある場合は必ず医療機関に行くということを学校のほうで徹底されていると思うんですけれども、そのあたりはいかがでしょうか。

吉岡体育健康安全課長

吉田委員から、今回のキットを活用するに当たっての注意点等についての御質問を頂きました。

まず、使用に関しましては、希望がある生徒が持って帰る前に、生徒に対しまして使用方法について、顧問若しくは養護教諭のほうからしっかり説明してから持って帰らせるようにいたします。また、症状がある場合には、基本的にはまず受診することが大事かなと

考えております。その上で、ちょっと自分でおかしいかなとか、周囲に感染者が出て不安があるという生徒たちに対して、積極的に使っていただきたいと考えております。

吉田委員

井下委員がおっしゃったように、久しぶりの有観客での全国大会ということで、部活動の時間は一生のうちの高校のたった3年間なんですけれども、本当に一生を支える思い出になるという経験が私にもございます。学校の先生とか教育委員会は大変だと思いますけれども、しっかり大会を成功させて子供たちの思い出づくりをお願いしたいと思います。

大塚委員

第6波で、県内の小中高での感染者数の総数が分かったら教えていただきたいです。

長谷体育健康安全課健康・食育推進幹

ただいま大塚委員から、第6波の感染者数について御質問がございました。

令和4年1月以降の感染者数でございますが、小学校で1,992名、中学校で558名、高校で834名の感染者が発生しております。

大塚委員

その中で、中等症以上の方はいましたか。

長谷体育健康安全課健康・食育推進幹

ただいま大塚委員から、その中に中等症以上の患者はいるかということでございますが、委員会のほうでは、中等症以上の患者がいることについては確認しておりません。全員が無症状又は軽症と聞いております。

大塚委員

県内で中等症はゼロですね。多分全国的にもないに等しい。井下委員、それから吉田委員もおっしゃったんですけれども、学校における行事、それから対外的なことも含めて、はっきり言うて、子供たちにとってインフルエンザ等のほかのウイルス感染症に比べて、症状の重いウイルス感染症ではないです。その中で、いろんな校内での授業とか校外での授業、それから修学旅行とかも含めて、普通に考えても中止する理由が分らんのです。私自身としては、やはりこれからは今のオミクロン株のコロナ感染症に対しては、いろんなことをやることに対して、ゴーサインを出さなければいけないと思いますけれども、ちょっとお考えをお願いしたいと思います。

今田学校教育課長

ただいま大塚委員より、校外行事等の実施の考え方についての御質問を頂きました。

現状といたしまして、県教育委員会といたしましては、修学旅行を含む校外行事の実施については、県外との往来は当該行き先の地域の感染状況等を十分に確認した上で慎重に判断するとともに、県内での実施についても感染症対策を徹底することと、3月末にも各

学校等に通知を発出しているところでございます。

国から示されております衛生管理マニュアルも踏まえまして、このような方針としているところでございますけれども、今聞いている限りにおいては、県外も含めて修学旅行に行く学校も多い状況でございます。国の方針なども踏まえながら検討していく必要があるかと思いますが、現状としてはこのような状況になってございます。

大塚委員

小中高の学校生活全てにおきまして、現在でのコロナ感染症が、それを妨害することがあってはならないと私は思っております。現状を見つめながら、生徒たちが学校生活での損益を被らないように、是非そういった行事をやっていただきたいと要望して、私の質問を終わります。

岩佐委員長

ほかに質疑はありませんか。

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、教育委員会関係の調査を終わります。

これをもって、文教厚生委員会を閉会いたします。（14時31分）